



1月16日 地域貢献セミナーを実施しました！

「孤独・孤立を防ぐ支援のあり方 ～社会福祉法人としてできること～」 声なきSOSを受け止める

平成29年4月に改正社会福祉法が完全施行され、社会福祉法人は、地域福祉事業の主たる担い手として、地域における公益的な取組が責務化され、他の事業主体では対応が困難な福祉ニーズに対応していくことが期待されています。

えんくるり事業では、今年度よりひきこもりの状態にある方等への社会参加・就労支援として社会福祉施設等での体験受入れを行う「ひきこもりの状態にある方等の就労体験事業」を開始しました。ひきこもり等への理解を深め、支援のネットワークを広げていくため、この度は認定特定非営利活動法人スチューデント・サポート・フェイス代表理事 谷口仁史様にご講演いただきました。

講演の中では、複合的な問題を抱えひきこもりの状態にある方々の実態、アウトリーチに必要な事前準備、効果的なアプローチ、専門員や地域との連携の重要性など、支援事例や動画も交えながら対象者や家族に寄り添い、慎重に丁寧に取り組む様子がうかがえました。

当日は民生児童委員協議会や生活困窮者自立支援関係など多くの分野、職種から計58人のご参加をいただきました。

【参加者の声】

- ・とても素晴らしい内容の取り組みだと感じ、ひきこもりの方に対してとことん寄り添う姿勢にとっても感銘を受けました。
- ・相談者の多くが負の連鎖によって複合的な問題を抱えており、専門員、地域が連携して支援することの重要性を改めて強く感じました。
- ・「対象者と支援者の価値観のチャンネルを合わせる」という言葉がとても心に響きました。まだまだ支援を頑張りたいです。
- ・ひきこもりの方にあなたが必要だと伝えられ、優しく人を認められる人間になりたいと感じました。見守るだけでなく、一步踏み込むことをこれからの課題としていきたいです。
- ・体験談が興味深かったです。もっと話を聞きたいので講演時間が3時間くらいあってもよかったです。
- ・孤独孤立を防ぐために、自分たちに何かできることはないか考える機会になりました。
- ・さまざまな活動から多くの若者、家庭への支援を続けられていて、もっと詳しく話を聞きたいと思いました。



「地域貢献セミナーとは」

各法人の地域における公益的な取組をさらに促進するとともに、法人連携により支援のネットワークを拡充し、より充実した支援につなげることを目的としています。

令和6年度も地域貢献セミナーを開催予定です！
みなさまのご参加お待ちしております。

～ 講師紹介 ～

佐賀大学文化教育学部卒業。在学中からボランティアで不登校、ニート等の状態にある子ども・若者へのアウトリーチ（訪問支援）に取り組む。卒業後、大学教授ら有志を募り「NPOスチューデント・サポート・フェイス（略称S.S.F.）」を設立。

令和5年3月末日現在、委託事業を含む約68万件を超える相談活動、約12万5千件を超えるアウトリーチに携わった他、市民活動団体を含む幅広い支援機関とのネットワークの構築や「職親制度」等社会的受け皿の創出、執筆や講演活動など多彩な活動を通じて、社会的孤立・排除を生まない支援体制の確立を目指している。

NHK『プロフェッショナル仕事の流儀』
平成27年8月31日放送出演